

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	田中 涼子	学校名	三原市立三原小学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	6 年 1 ・ 2 組（39 ・ 38 名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021 年 12 月～2022 年 2 月（全 12 時間）		

【実施概要】

1. 単元名（活動名）：WE HAVE A DREAM ～なりたい自分プロジェクト～				
2. 実践する教科・領域： 総合的な学習の時間	3. 学習領域			
		1	2	3
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生
	B グローバル社会	相互依存	情報化	
	C 地球的課題	人権	環境	平和
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加
4. 単元の目標：				
日本・外国で暮らしている人や身近な人の夢を探究する活動を通して、世界をとりまく諸課題や、課題の解決を目指す人々の願いや取組の意義を理解し、よりよい社会の実現のために自分にできることを見つけ、これからの自分の夢や目標を具体的に考えることができる。				
5. 単元の 評価規準	①知識・技能	日本や世界の国際的、社会的な諸課題について知り、世界の国々の状況や人々の願い、SDGs の達成に関わる取組の意義を理解している。		
	②思考・判断・表現	【探究力】 国際的、社会的な諸課題への問いを持ち、問いに対する答えを考えたり、問いを更新したりしている。 【論理的思考力・表現力】 自分の考えと他者の考えを比較したり、人々や自分の思いや願いと国や実社会の現状、SDGs の 17 のゴールを関連付けて考えたりしながら、考えや根拠を分かりやすく表現している。		
	③主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 自分の好きなことや得意なことをもとに、興味のあることやチャレンジしたいことを選択し、目標を達成するために必要な工夫や努力をしようとしている。 【協働性】 話し合いやグループワークの中で、自他の意見を大切にし、互いの意見のよさを生かして、よりよいものを創造しようとしている。		

6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由あるいは単元の意義】 児童・生徒に、予測不可能な社会を生き抜く力が必要だと言われて久しい。ただでさえ変化の激しい社会に加えて、世界規模で新型コロナウイルスの感染が拡大し、毎日暗いニュースが多い。本学年の児童は、一昨年度末より、臨時休業や分散登校、様々な学校行事の延期や中止等、制限の多い学校生活を強いられてきた。このような社会情勢であっても、児童には明るい未来を思い描き、希望をもって小学校を巣立って欲しい。夢を持たない(持てない)子どもたちも多い昨今、世界規模から自分の夢を考え、自己実現、よりよい社会の実現にむけて行動する力を備えて小学校生活を締めくくることがねらい、本単元を設定した。 【児童観】 第6学年の児童は、4月～11月の総合的な学習の時間「三原市魅力化計画」において、三原市の魅力や課題について整理し、過疎化に着目して学習を進めてきた。人口の減少という抗えない現象に対して、自分たちにできることを考える中で、10年後の三原市をよりよい三原市にしていくための取組を考え、行政や企業と連携して活動を行ってきた。 このような学習活動を通して、本校で育成をめざす資質・能力については、4月と10月のアンケート調査において、児童の肯定的評価が全体的に向上しつつある。一方で、「探究力」「論理的思考力・表現力」に関する肯定的評価の数値は高くなってきたものの「とてもそう思う」という強い肯定を示した児童が「探究力」では29.6%、「論理的思考力・表現力」では27%と、「主体性」や「協働性」に比べて低い数値であった。本単元の学習前アンケートでは、「将来の夢がある」と回答した児童が60.6%、「前はあったが、今はない」と回答した児童が22.5%、「ない」と回答した児童が16.9%であった。夢に対する認識には個人差があることが分かる。SDGsについては、78.9%の児童が「知っている」と回答しているが、その意義や具体的な取組、自分との関わりを説明できる児童は僅かであった。情報社会の中、児童は直接体験をしなくても多様な情報を手軽に入手することができ、何となく理解することもできるが、それをジブンゴトとして捉えているとは言えない現状が浮き彫りとなった。 【教材観】 本単元には、身近な人、国内外で暮らす人等、いろいろな人の夢を聞いたり調べたりする中で、夢という漠然としたイメージを明確化、具体化していけるよさがある。さらに、自分たちの夢にSDGsの視点を与えることで、身近な社会だけでなく、世界規模でよりよい社会を創造していくために、自分はどんな分野からどのように社会に貢献できるのかを考えていくことができる教材だと言える。SDGsの達成をめざす2030年、児童は成人している。前単元の学習を踏まえ、3か月後に卒業する児童と10年後の自分の姿を探究することに大きな意味がある。 【指導観】 どの児童も、自分の夢や理想の社会や未来に向かって、今現在の自分がすべきことや中学校での目標を明確にし、学習や活動に主体的に取り組んでいけるようにするために、次の2点を重視して指導をする。1点目に、児童の知識をより広げること。身近な人の夢をインタビューしたり、国内外で暮らしている人々の夢を調べたりすることで、多様な文化、価値観のもと、様々な人々が世界中に暮らしていることを理解させたい。その際、夢に関する様々な書籍や実際に海外で得た情報を使った自作資料を活用する。2点目に、児童の思考をより深めること。様々な人物が夢を抱いた背景やきっかけを探ることで、日本や世界の国際的、社会的な諸課題について多面的に考えさせたい。そして、誰もが自己実現や、よりよい社会の実現を夢見ていること、世界中でSDGsの達成を目指した取組が行われていることを知り、社会の一員として自分にできることを探究していく。これらの工夫を通して、児童が国内外の人々の状況や願い、取組を理解できるようにしたい。また、自分の夢や目標をより明確に、具体的に描けるようにするとともに、6年間の自己の成長を感じられるよう、学習をまとめていきたい。
---	---

7. 単元計画（全 12 時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	夢を持つ意義や SDGs との関連、学習の意図をとらえ、今後の学習の見通しを持つ。	- 自分の夢について考える。 17 のゴール、169 のターゲットについて知る。 - MDGs の策定から、SDGs の採択までの経緯を知り、日本を含む全世界を取り巻く課題を達成する取組であることを知る。 - 単元を貫く学習課題を設定する。	自作 Slide 資料（1～14）
2	学習課題を達成するための学習計画を立て、育成をめざす資質・能力のルーブリックを設定する。 夢を例示し、思いや願いが社会への貢献や SDGs の達成につながることを理解する。	- 学習課題を達成するために必要な活動を書き出し、学習計画を立てる。 - 本単元でめざす資質・能力（主体性、協働性、探究力、論理的思考力・表現力、知識・技能）が育った姿を具体化し、共有する。 - 弁護士の方（日本の男性）の夢を知り、個人の思いや願い、社会への貢献、SDGs への関連について話し合う。	- 前単元で使用した資質・能力ルーブリック 「1 歳から 100 歳の夢」 - 自作 Slide 資料（15・16）
3	国内外の人々の夢を知り、社会の現状や課題、それらを解決しようとする人々の存在やその取組を理解する。	- 様々な年代、国籍の人々の夢（日本の子ども、セネガルの女性）を知り、個人の思いや願い、社会への貢献、SDGs への関連、社会の現状や課題について話し合う。 - SDGs 達成に向けた JICA の取組、一般企業の取組を知る。	「1 歳から 100 歳の夢」 「WE HAVE A DREAM」 - 自作 Slide 資料（17～28）
4 本時	カンボジアの子どもたちの夢を知り、思いや願い、国の現状や SDGs との関連について話し合うことを通して、身近な社会や世界に貢献できる夢の在り方について考える。	- カンボジアの子ども 2 人の夢から、各班で個人の思いや社会への貢献、SDGs への関連を考え、話し合う。 - 人物の背景や国の状況をもとに、夢と SDGs のつながりを考える。 - 自分の夢や目標の設定の見通しを持つ。	「DREAMS」 - 自作資料「モイちゃんの夢」 「WE HAVE A DREAM」 - 自作 Slide 資料（29～48）
5	目的に沿った夢インタビューの在り方について理解し、自分の課題をもとに夢インタビューの計画を立てる。	- 現在の自分の課題を把握する。 - 自分の課題を解決するために参考になる相手を選び、日時、目的、質問項目等、冬季休業中に実施する夢インタビューの計画を立てる。（半構造化インタビュー） - 家族や知人へのインタビューの実施が難しい場合は、本校職員へのインタビューや関連書籍の分析、調べ学習を行う。	「1 歳から 100 歳の夢」 「働く人の夢」 「WE HAVE A DREAM」
6.7	夢インタビューを実施し、結果や感想を共有することを通して、人々の夢を裏付ける多様な価値観、生き方を理解する。	- 夢インタビューの感想や気づきを発表する。 - SDGs へのつながりを考える。 - 誰もが身近な誰かのためやよりよい社会のため夢を持っていることをまとめる。 - 夢の設定に参考になることを共有する。	「WE HAVE A DREAM」 「働く人の夢」
8	世界各国や日本の SDGs 達成状況を知ることを通して、SDGs と自分の生活を関連付け、学校のみんなでできる達成への取組を考える。	- カンボジアや日本の SDGs 達成状況を予想し、両国を含む世界各国の達成状況を知る。 - 日本の達成が遅れている項目（5, 13, 14, 15, 17）を確認する。 - 三原小学校の現状から、貢献できる SDGs の目標を考え、三原小の HP に載せることができる SDGs 達成への取組を考える。	「共につくる私たちの未来」 - 自作 Slide 資料 - Sustainable Development Report 2021
9	SDGs 達成に向けて、よりよい世界をつくっていくために、自分の夢と関連付けて、自分が貢献できることを考える。	17 の目標、世界各国、日本の達成状況を振り返る。 17 の目標を「今すぐ何か取り組める」「将来的に取り組める」「取組は難しい」の 3 つに分類し、自分にとって重点になる目標を絞る。	「共につくる私たちの未来」 「WE HAVE A DREAM」

10.11	一人一人が自分の夢と SDGs を関連付けて思考し「三原小 WE HAVE A DREAM」を作成する。	・「今すぐ取り組みそう」「将来的に取り組みそう」に分類された目標を中心に自分の夢や今後の目標と関連付けて、夢シートを作成する。	・「WE HAVE A DREAM」
12	完成した夢シートをもとに一人ずつ夢宣言をし、今後の学校生活への意識を高める。	・一人一人が夢宣言をする。 ・Jamboard を活用し、全員で応援コメントを送り合う。 ・単元を通して、振り返りを書く。	・自作 Slide 資料

8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：カンボジアの子どもたちの夢を知り、思いや願い、国の現状と SDGs との関連について話し合うことを通して、社会や世界に貢献できる夢の在り方を考えることができる。

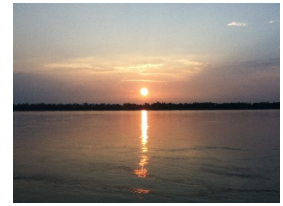
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (8分)	1. 前時の学習を振り返る。 「前回の授業で、どんなことが分かりましたか」 ・それぞれの思いや願いが夢になっていた。 ・まだ夢が決まっていなかった人もいた。 ・大人になっても夢があった。  「日本とは状況や環境が違う国なら、夢も違うかも」という意見がありました。どう思う？」 ・国は違っても夢は同じような感じじゃない？ ・やっぱり違うと思う。いろいろあると思う。 2. 本時の課題、探究の過程、育成をめざす資質・能力を設定する。	・夢には個人の思いや願いのみならず、国や社会の現状が関わっていることを想起させる。  ・全員に予想させ、挙手で意思表示をさせる。 ・まとめ、振り返りの視点を示す。	・前時まで扱った人物の写真（「1歳から100歳の夢」「WE HAVE A DREAM」の Slide）  ・カンボジアを示した世界地図と現地の写真 (Slide) 
カンボジアの子どもたちの夢を分析し、SDGs との関連を考える。			
展開① (15分)	探究の過程：整理・分析 育成をめざす資質・能力：論理的思考力・表現力 3. 資料を読んで「社会への貢献」「SDGs との関連」を考える。 「カンボジアってどんな国だと思う？」 ・名前しか知らない。貧しい国だと思う。 ・児童会のユニセフ募金が使われているかも。	・カンボジアの子どもたちの生活に関わる事前情報を3つ（観光・歴史・教育）を与える。	・カンボジアの地図（シェムリアップとクラチェに印） ・3つの情報 (Slide)

【情報①観光】 「アンコール遺跡群」は 行ってよかった世界遺産 第1位 (Trip Advisor)	【情報②歴史】 1975年～1979年クメールルー ジュにより、知識人を中心に大 規模な拷問・虐殺が行われた。	【情報③教育】 カンボジアの小学校で学ぶ教科は、 国語、算数、理科、社会、体育、生 活技能プログラム。試験に合格した ら卒業できる。
	「まずは、資料からわかることを書き込みながら 読みましょう」 「班で自分の考えを共有しましょう」 【ティムくん】 ・ どうしてホテルのマネージャーなんだろう？ ・ 観光地だし近くのホテルに憧れているのかな。 【モイちゃん】 ・ 学校に行くの楽しそう。 ・ お姉ちゃんが担任なんてことある？なぜ？	・ クラスの半分にテ ィムくんの資料を、 残り半分にモイチ ちゃんの資料を渡す。 ・ 意見を付箋に書く。 社会への貢献(黄)、 SDGs と の 関 連 (赤)、感想や疑問 (緑) ・ 世界の子どもの夢 「DREAMS」カンボ ジア (P-31)、カンボ ジア、モイちゃんの 夢 (自作資料) ・ SDGs のロゴ (Slide)
展開② (15分)	4. 班で考えたことを共有する。 「班で考えたことを共有しましょう」 ・ ホテルで働いて、観光に貢献することは国のた めになると思います。11番の町づくりにつな がりそう。 ・ 教師をめざしたら、自分自身も賢くなるし、未 来の子どもたちが助かると思います。4番に貢 献できていると思います。 5. 各国の現状について伝える。 「これらの資料から何に気づきますか」 ・ すごく人口が少ない年代がある。なぜだろう？ 日本の人口ピラミッドと全然ちがうね。 ・ 何かを掘っている。看板のマークがドクロだか ら、危険なものだと思う。	 ・ 2人の夢がどのよ うに社会に貢献し、 SDGs と関連して いるのか、つながり を意識して思考、発 表させる。 ・ 感想や疑問につい ても必要に応じて 話題に取り上げ、ま とめにつなげる。 ・ グループワーク前 に示した3つの情 報の詳細が分かる グラフや写真を示 し、カンボジアの現 状を端的に伝える。 ・ 班で作成したワーク シート (大型テレビ) ・ シェムリアップとク ラチェの町の様子、 アンコールワットや カンボジアの学校の 様子が分かる写真 アンコールワット 

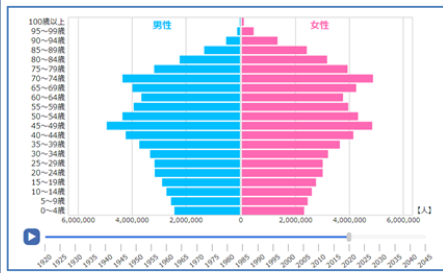
- ・内戦は終わったのに、どうしてまだ地雷が埋まっているの？
- ・暗い教室だな。電気がないね。木造なのかな。
- ・カンボジアは半日しか学校がないんだね。
- ・半日の勉強で卒業できるのかな。

- ・主体的な調べ学習につなげるために、最低限の情報に留める。

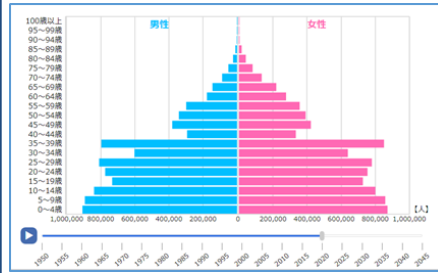
夕暮れのメコン川



日本 (2020 年)



カンボジア (2020 年)



【日本とカンボジアの人口ピラミッド】

日本：少子高齢化の進行。ベビーブームからの「団塊の世代」が目立つ。

カンボジア：内戦の影響で人口に偏り。働き盛りの世代（40代）が少ない。

【地雷の撤去作業】

地雷や不発弾がまだ残っており、現在も事故がある。残留地雷の正確な数は分からない。



ある小学校の1日

6:50～ 7:00 朝の会
国旗掲揚
7:00～11:00 1組授業
13:00～17:00 2組授業
17:00～17:10 帰りの会
国旗降納

【カンボジアの小学校】

電気がない木造校舎。教師不足のため、半日制で学んでいる。初等教育の未登録率は、男子9%、女子10%、修了率は男子69%、女子79%（ユニセフ世界教育白書2019）

まとめ

(7分)

6. 本時の学習をまとめ、振り返る。
- 「子どもの夢も社会や世界に貢献できるのかな」
- ・どんな夢も社会や世界に貢献できると思う。
 - ・よく考えてみたら、いろんなことがSDGsとつながっている気がした。
 - ・誰一人取り残さないのがSDGsの目標なのに、日本にも取り残されている人がいるかも。
 - ・自分の夢もつながっているかもしれない。
 - ・ティムくんやモイちゃんの夢がかなうのか気になったよ。応援したくなった。
 - ・自分の夢もこれから考えてみたい。

- ・発表でのキーワードを板書し、自分の視点でまとめ、振り返り（知識・技能、資質・能力、感想）を書かせ、何人かに発表させる。

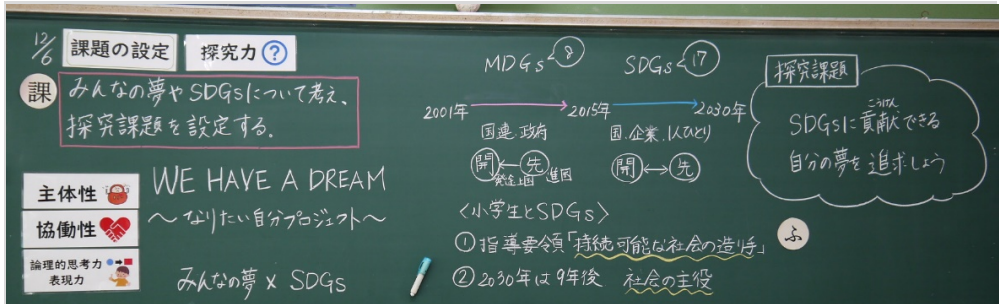
- ・これまでに紹介した日本、セネガル、カンボジアの人の写真 (Slide)

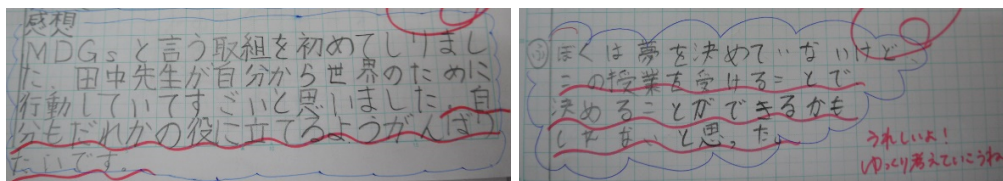
9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） 【知識・技能】カンボジアの諸課題について知り、カンボジアの状況や人々の願い、SDGs に関わる取組の意義を理解することができる。（グループのワークシート、ノートの内容） 【論理的思考力・表現力】グループワークの中で、自分の考えと他者の考えを比較したり、個人の思い・願いと国の状況やSDGs と関連付けて考えたりしながら、考えや根拠を分かりやすく表現している。（グループワークでの発言・ワークシートの内容・発表での行動観察）
10. 学習方法および外部との連携 ・ ICT 機器（Chorome book, 大型テレビ）、思考ツールの活用で個人思考を促進し、グループワークを円滑にする。 ・ 青年海外協力隊での活動経験や現地の写真を有効に活用し、児童の興味や関心を喚起する。 ・ 必要に応じて、独立行政法人国際協力機構 中国国際センター職員の方や、現在派遣中の JICA 海外協力隊員の方と連携し、リモートで授業に参加していただく。
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み ・ 本校での校内研修で実践報告を行い、校内に授業の様子や児童の成果物を掲示する。 ・ 同一中学校区の中学校 1 校、小学校 4 校でも、実態に応じて授業実践および研修を行う。 ・ 青年海外協力隊 OV としての出前講座において、授業の要素を取り入れた内容の講座を行う。

【自己評価】

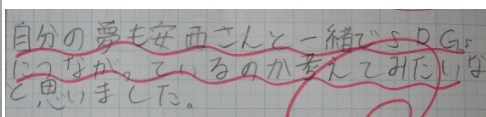
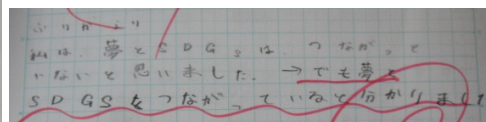
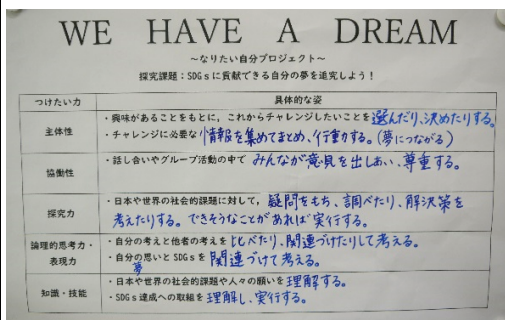
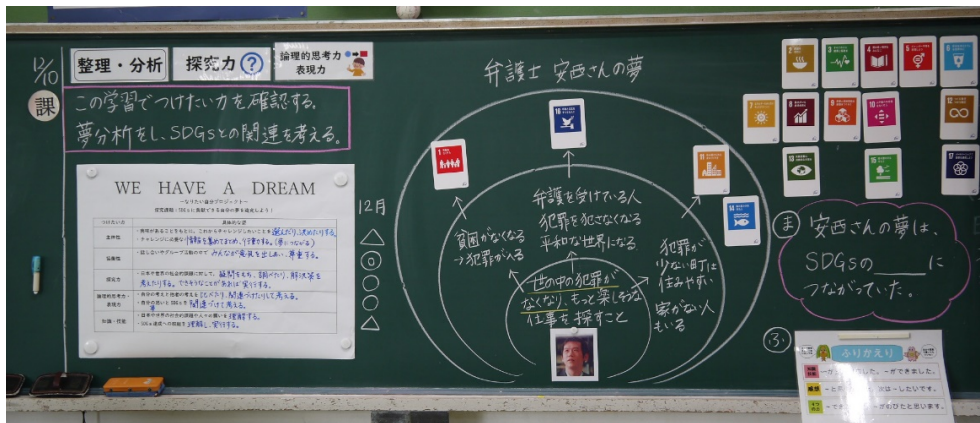
12. 苦労した点	本研修のねらいや自分の勤務形態、本校の年間計画を考えると、授業実践にかかる条件が多く、それら全てをクリアする単元構成、授業づくりに苦労した。「国際理解教育／開発教育」「SDGs」「生活科および総合的な学習の時間」「12 月中旬までの実施」という条件を考慮し、6 年生の総合的な学習の時間で授業を実践することに決めた。しかし、卒業前に児童と取り組む「夢」という大きなテーマを、無理のない自然な形で、どのように「国際理解教育」や「SDGs」とつなげるかは、なかなかアイデアが浮かばず、試行錯誤を繰り返して本時の展開にたどり着いた。
13. 改善点	十分考えて計画したつもりだったが、それでも活動と情報が多く、時間的なゆとりがない授業になった。本時では、カンボジアを多面的に考察することを目的に、2 人の小学生の夢を取り上げた。1 人に絞ることも考えたが、観光地シェムリアップの少年と、田舎町クラチェの少女の夢をどちらも分析することで、カンボジアという国の姿がより明確になると考え、2 人の夢を同時に扱う選択をした。進行の都合上、学級を 2 つに分け、どちらか 1 人の分析を行ったため、もう 1 人の夢の詳細を知らないまま授業を終える形になってしまった。2 人の共通点には軽く触れたが、分析結果をすり合わせる時間がもう少し必要だった。もしくは、授業中に資料を交換する、資料を読み上げる等の配慮があるとよかった。私の実践では時間的なゆとりがなかったため、授業後、廊下に 2 人の夢コーナーを設置し、児童が自由に資料を読めるようにした。また、白黒の資料を児童に配布したが、カラーのほうが 2 人が生き生きと暮らしている様子が伝わると感じた。状況が許せば、配付資料はカラーのほうがよい。その他、時間配分の関係で十分に説明ができなかった部分（教育制度や歴史）に関しては、次時に補足説明をした。



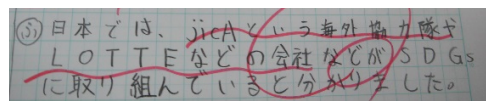
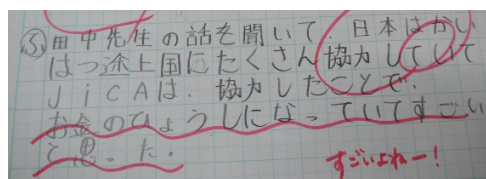
14. 成果が出た点	児童が夢や SDGs, 世界の課題や多様性に対してジブンゴトになれるよう、授業実践に際していくつかの工夫をした。成果と呼べる効果があった工夫は次の通りである。 ①【単元構成】SDGs に関わる学習を単元の前半と後半に設定したこと 事前アンケートの結果から、児童の SDGs への理解が表面的であること、自分の生活と SDGs の関連をあまり感じていないことが分かった。ある程度の知識や理解がなければ、ジブンゴトとして学習することは難しいと考え、1 時間目に SDGs 採択までの経緯等、基礎的なことを学習する時間を設けた。その成果か、1 時間目の後「テレビで SDGs のことをやっていたよ」「SDGs のロゴがあったよ」等、自らの生活とつながりを発見する児童が増えた。後半では、日本の SDGs 達成状況や各国の状況など、もう一步踏み込んだ話題から、探究を深める予定である。 また、単元の途中であるため成果とは言い切れないが、夢について探究する対象を他人→知人・友人→自分たち→自分という順で設定した。対象を徐々に自分に近づけることで、最初はヒトゴトだったことが、最後にはジブンゴトになるように構成している。 ②【前時】カンボジアを身近に感じられる資料を提示したこと 本時にとっての前時である 3 時間目に、JICA の取組を紹介する場面を設けた。その中で、私が青年海外協力隊として活動している写真を提示し、日本が支援した橋や世界遺産アンコールワットが印刷された現地の紙幣に触れる機会をもった。この活動から、児童はカンボジアに対して興味や関心を持ち、本時である 4 時間目の授業の中心がカンボジアであることも自然な流れとしてもっていくことができた。また、3 時間目の後、カンボジアや JICA, SDGs について自主的に調べている児童もいた。 ③【本時】2 人の夢を扱ったこと、カンボジアの情報を 2 段階で提示したこと 13.改善点でも記した通り、本時では、カンボジアの 2 人の子どもの夢を同時に扱い、分析する材料として、あらかじめ観光、歴史、教育の 3 つの情報を示した。この工夫によって、カンボジアという国をより多面的に考察し、興味や疑問がわきやすい状況をつくることができた。分析後、児童がカンボジアに対して興味や疑問を持ち「知りたい」「気になる」と思った状態で、さらに詳しいカンボジアの情報を与えることで、よりジブンゴトとして夢や SDGs について考えることにつながったのではないかと考える。授業での様子や児童のワークシートやノートを見ても、この工夫がとても有効だったことが分かり、今後別の授業実践でも活用していきたいと考えている。 また、色分けした付箋と SDGs シールと資料、自作の夢分析シートを活用し、班で話し合いながら活動したことも児童の思考を深める有効な手立てだった。
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	【1 時間目の板書と児童のノート】 



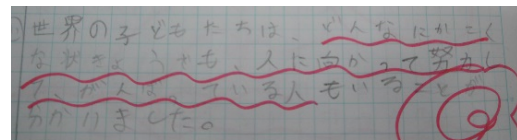
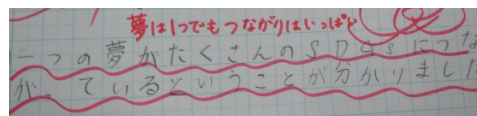
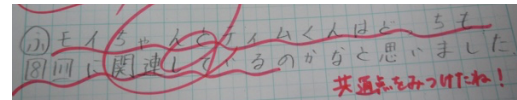
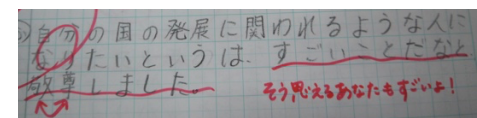
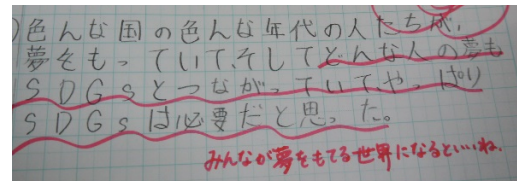
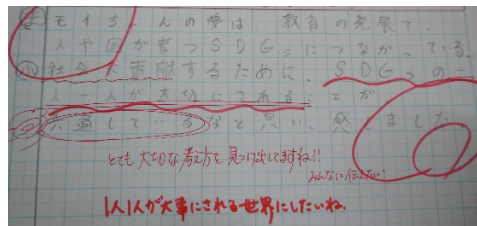
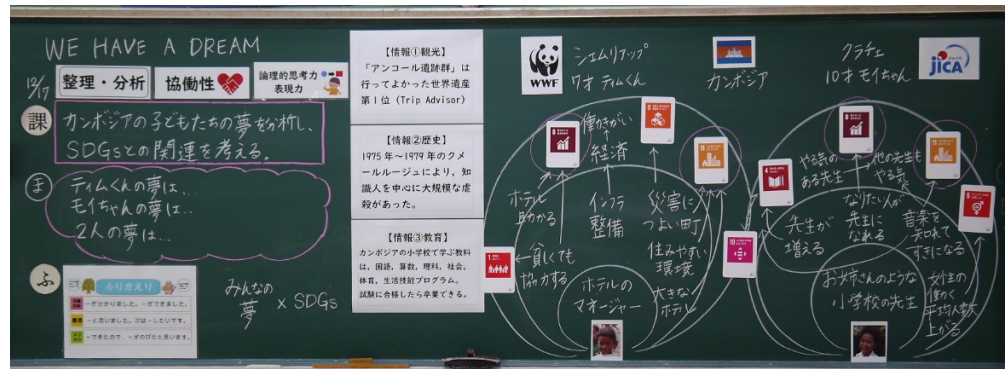
【2時間目の板書と児童のノート】



【3時間目の板書と児童のノート，活動の様子】

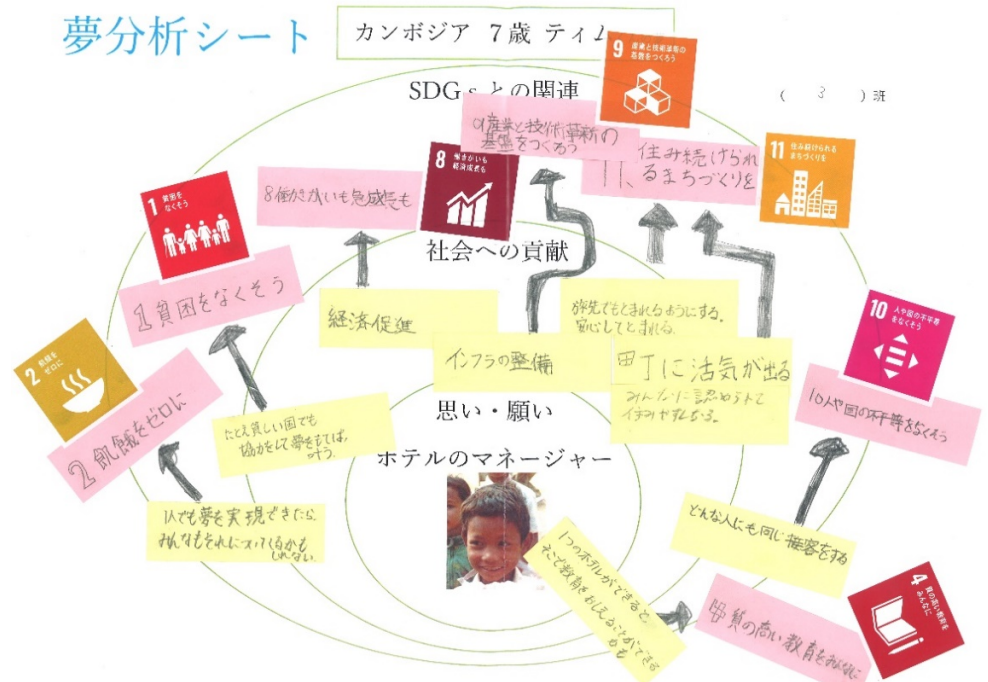


【4 時間目（本時）の板書と夢分析シート、児童のノートやワークシート】



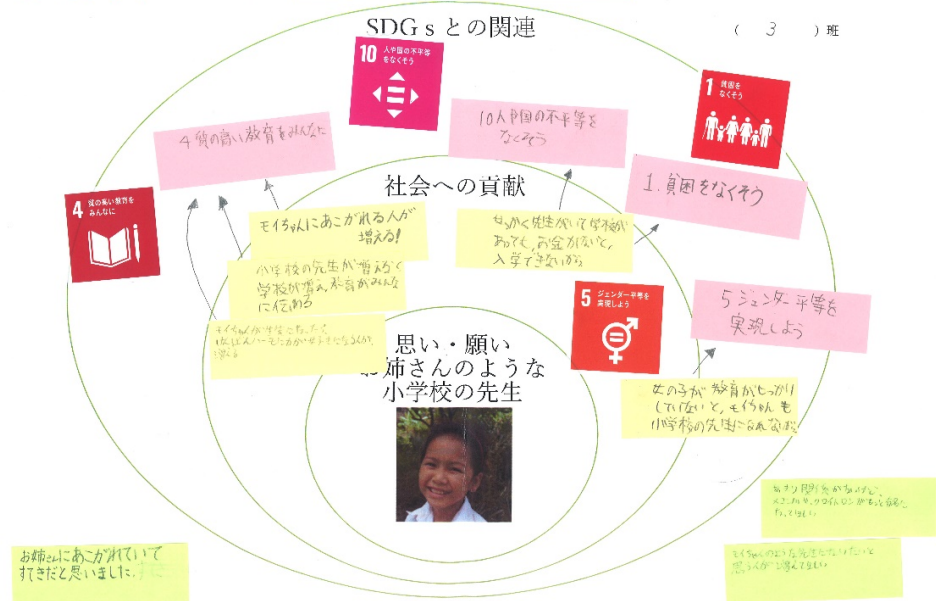
3 回目の夢分析ということもあり、振り返りにティムくん、モイちゃん個人の夢やカンボジアの様子についての気付き（事実的知識の獲得）を書いた児童もいれば、2 人の夢の共通点や、これまでに学習で扱った国や人の夢も含めた総合的な気付き（概念的知識の形成）を書いた児童もいた。総合的な学習の時間において大切な「自らの生き方を考える」ことに発展できる要素が多く見受けられた。

夢分析シート



夢分析シート

カンボジア 10 歳 モイ さんの夢

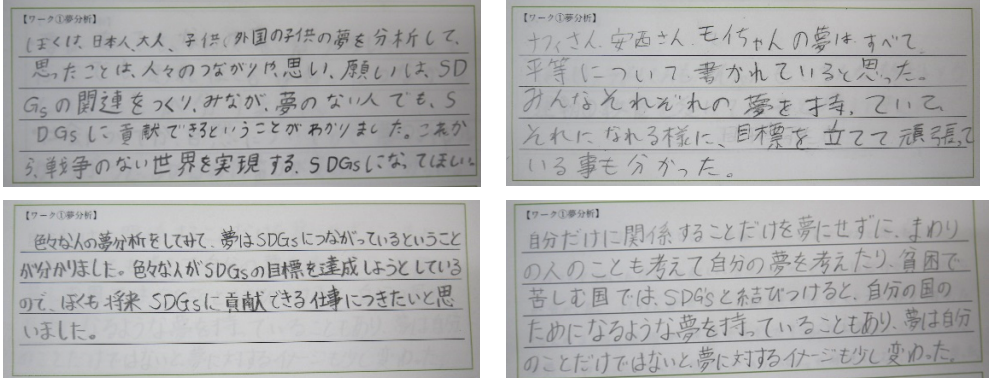


【掲示物と夢文庫コーナー】



最初は「自分の夢と SDGs はつながっていないと思う」と発言する児童が多かったが、日本の大人、子ども、外国の大人、子ども…と多様な人物の夢分析をしていくにつれ、「やっぱり夢と SDGs はつながってるかも」「1 つじゃなく、いくつものゴールとつながり合っている」「自分の夢も分析したい」と発言するようになっていった。この分析を通して、自分の夢と SDGs を別々に考えるのではなく、夢に向かって行動することが社会への貢献になり、SDGs へとつながるということを自然な流れで理解することができた。また、カンボジアやモイちゃんについて「私が夢を追いかけて住んでいた国」「私がカンボジアで初めて教えた生徒の妹」と、つながりを具体的に紹介することで、遠い国、知らない国、知らない子、と捉えるのではなく、どんな国だろう、どんな子かなと親近感を持って取り組んでくれた。日本だけでなく、世界の状況に目を向けることで、SDGs の達成は日本だけの課題ではなく、誰もが夢をもって生きられる世界をつくるために、世界全体が丸となって取り組むべき課題であることに気が付くことができた。この学習はまだ途中なので、今後も児童の思いや気付きを大事にしながら進めていきたい。



	【OPPA (One Page Portfolio Assessment) 夢分析部分の記述】 
16. 授業者による自由記述	どんな先生でもどんな学校でも実践できる汎用性の高い授業を目指し、普遍的なテーマである「夢」と SDGs を関連付けて学習単位をつくることにチャレンジをした。今回は、自分にとって一番なじみのあるカンボジアを主に取り上げたが、また実践する機会があれば、他国の例も扱ってみたい。青年海外協力隊 OV として出前講座をする際にも活用できる実践となり、指導の幅が広がったことをうれしく思う。 また、この授業では、JICA 地球ひろばの SDGs カードやシール等を活用させていただいた。児童が視覚的に理解し、円滑に活動し、思考を深めるためにとても有効な教材・教具であった。この実践に関してご助言、ご協力くださった先生方、JICA 地球ひろば、GiFT、JICA 中国の皆様、ありがとうございました。 ♡ស្វាគមន៍គុណ♡

参考資料：

【夢に関わる書籍】

- ・大脇崇 ワールドプロジェクト編 (2010) 「DREAMS 大人になったら、なんになりたい？」サンクチュアリ出版
- ・日本ドリームプロジェクト編 (2006) 「1 歳から 100 歳の夢」いろは出版
- ・日本ドリームプロジェクト編 (2008) 「働く人の夢」いろは出版
- ・WORLD DREAM PROJECT (2021) 「WE HAVE A DREAM」いろは出版

【その他の資料・書籍・ウェブサイト】

- ・日本国際理解教育学会編著 (2015) 「国際理解教育ハンドブック」明石書籍
- ・JICA 地球ひろば「共につくる私たちの未来 SDGs から『持続可能な社会の創り手』への一歩を」
- ・公益財団法人 日本ユニセフ協会ウェブサイト <https://www.unicef.or.jp/kodomo/SDGs/about/>
- ・独立行政法人 国際協力機構 JICA ウェブサイト SDGs 達成に向けた JICA の取り組み https://www.jica.go.jp/aboutoda/SDGs/achievement_SDGs.html
- ・JETRO 日本貿易振興機構 (ジェトロ) ビジネス短信 <http://jetro.go.jp/biznews>
- ・Unicef 世界子供白書 2019 <http://www.unicef.or.jp/sowc/data.html>
- ・外務省 キッズ外務省～地球に生きる君たちへ～世界の学校を見てみよう！ カンボジア王国 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/cambodia.html>
- ・Sustainable Development Report2021 <http://www.sustainabledevelopment.report/>
- ・統計ダッシュボード 日本とカンボジアの人口ピラミッド (2020) <https://dashboard.e-stat.go.jp/>

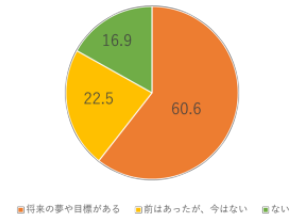
WE HAVE A DREAM

～なりたい自分プロジェクト～

1

みんなの夢や目標への思い

将来の夢や目標はありますか？



2

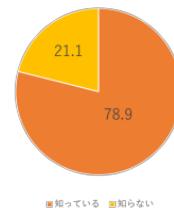
三原小学校の先生たちは、 小学校の先生になることをいつ決めた？

- 大学3年生のころです。(T先生)
- なりたいと思ったのは、中学生ぐらいかなあ。(F先生)
- 高校生の時には、考えてたかなあ。(Y先生)
- 中学校2年生の時に「小学校の先生になりたい」って作文に書いた気がする。(M先生)
- 高校生の時、進路を決めるときに考えました。(Y先生)

3

SDG s に対する認識

SDGsって知ってる？



4



5

SDG s って何だろう？

持続可能な開発目標

Sustainable
Development
Goals

2030年までに

17 のゴール（目標）

169 のターゲット
（具体的な目標）

6



1. 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

- 1.1 2030 年までに、現在 1 日 1.25 ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。
- 1.2 2030 年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。
- 1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保障制度及び対策を実施し、2030 年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。
- 1.4 2030 年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天賦資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。
- 1.5 2030 年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の脆弱性（レジリエンス）を軽減し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に脆弱性を軽減する。
- 1.a あらゆる次元での貧困を終わらせるための計画や政策を実施するべく、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対して適切かつ予測可能な手段を通じて、開発能力の強化などを通じて、さまざまな開発途上からの相当量の資源の動員を確保する。
- 1.b 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策の枠組みを構築する。

出典：SDGs 1000ターゲット、東京新聞 TOKYO Web (tokyo-np.co.jp)

7

SDGs は、どうして
はじまったの？

8

MDGs ミレニアム開発目標

9

MDGs からSDGs へ

先進国がお手伝いして、開発途上国の課題を解決しよう！ 21 世紀になるし、よりよい世界を目指すぞ～

あれ？
先進国にも課題があるぞ？
開発途上国の課題を解決するだけで、本当によりよい世界になるのかな？

先進国も開発途上国もみんなで協力して課題を解決して、本当のよりよい世界をつくろうよ！

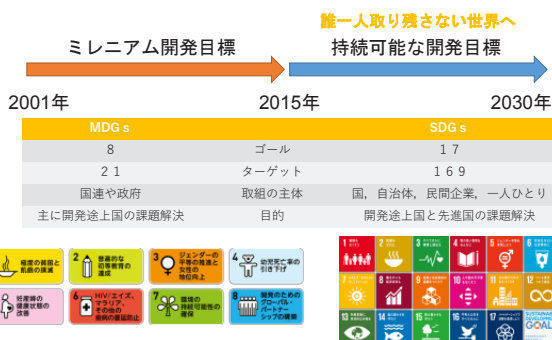
2000～2015



2015～2030



10



11

MDGs とSDGs のちがいは？

・先進国の人も開発途上国の人も！

どんな国の人も

・政府、企業、生産者、大人、子ども...みんなでやろう！

どんな人も みんなで

・17のゴール（目標）は関連し合っているよ！

ゴール同士のつながりを意識して

12

小学生がSDGsに取り組む意義

- ① 小学校学習指導要領
「持続可能な社会の造り手」
- ② 2030年は9年後！
社会の主演はみんな！

13

はじまるよ！

みんなの夢

×



WE HAVE A DREAM
～なりたい自分プロジェクト～

14

夢分析をしよう！

15

世の中の人はどうな夢を持っている？①



【日本人 大人代表】
安西敦さん
34歳 弁護士 男

世の中の犯罪がなくなり、
もっと楽しそうな仕事を探
すこと

16

1組の分析結果



2組の分析結果



17

子どもの夢は？
外国の人の夢は？

18

世の中の人にはどんな夢を持っている？②



【日本人 子ども代表】
清水みちるさん
11歳 小学生 女

まだ夢は決まってい
ないけど、助けられる動物は絶対
助けたい。

19

世の中の人にはどんな夢を持っている？③



【外国人 大人代表】
ナフィ ガイさん
セネガル 団体職員 女

女の子がみんな自分で人生
の選択を行い、成功する機
会を得られること

20

セネガル共和国



- ・西アフリカ（開発途上国）
- ・主食は米 チェブジェン
- ・人懐っこくて心が暖かい人々
- ・気候は暑い 最高50度
- ・好きな言葉は「テランガ」（おもてなし）

21

みちるさんとナフィさんの夢は、 どのゴールにつながっているだろう？



22

ふせんに書いて分析！

弁護士 安西さんの夢分析の例

犯罪が減り、平和な世の中になる

★黄...社会への貢献
社会にこんないいことが起きる！

16 平和と公正をすべての人に

★赤...SDGsへの関連
何番のゴールの達成につながる！

正義の味方のような仕事ですね！

★緑...感想や疑問
その人へのメッセージでもOK！

23

開発途上国の課題を解決する日本の取組



「信頼で世界をつなぐ」

JICAは、開発途上国との信頼関係
を特に重視し、途上国と共に課題
の解決に取り組んでいます。

【人間の安全保障】

すべての人が、生命や生活
を脅かされることなく、尊
厳を持って生きられる社会
を目指します。

【質の高い成長】

自然環境をそこなわず、格
差の少ない持続的な成長を
目指し、国内外のパートナ
ーと協力しています。

24

People

誰もが健康で、安心して暮らせる社会のために

- 教育
- 保健医療
- 社会保障の充実

Prosperity

豊かで自然と調和する経済、社会の進展のために

- 農業・農村開発
- 民間セクター開発
- 都市・地域開発
- クリーンで安定したエネルギーの確保
- 運輸交通基盤の整備

Peace

恐怖や暴力のない、平和で公正な社会のために

- 紛争が発生しない国づくり
- 法制制度の整備
- ジェンダー平等の推進、女性・女子のエンパワメント

Planet

地球環境を守るために

- 持続的な資源管理
- 自然環境の保全 環境管理
- 水資源の確保と供給
- 防災

技術協力やJICA海外協力隊派遣など

有償資金協力・無償資金協力

外国の通貨になったODA
カンボジアの500リエル紙幣（メコン架橋建設計画）

カンボジアの主要幹線道路の一つである国道7号橋は、メコン河により東西に分断されていました。そこで日本の無償資金協力（平成9年度～平成12年度、総額63.62億円）によってメコン架橋が建設され、農作物の運搬として重要な東北地方と首都との交通事情が改善されました。現地ではこの橋を、「きずな」という日本語をそのまま使って「きずな橋」と呼ばれています。

出典：外資系 JICA ODAとは？ ODA5よっとい国 外国の通貨になったODAカンボジアの500リエル紙幣（メコン架橋建設計画）（mofa.go.jp）

JICAだけじゃない！

いろいろなところで、社会的課題の解決に向けた取組が行われている！

6年1組の分析結果

夢分析シート

小学生 清水みちる

6年2組の分析結果

夢分析シート

市民団体職員 ナフィ・ガイ

外国の子どもたちの夢は？

31



世の中の人はどうな夢を持っている？④



【外国人 子ども代表】
ティムくん カンボジア
シェムリアップ 7歳 男

ホテルのマネージャー

33

世の中の人はどうな夢を持っている？⑤



【外国人 子ども代表】
モイちゃん カンボジア
クラチエ 10歳 女

お姉さんのような
小学校の先生

34

【情報①観光】

「アンコール遺跡群」は
行ってよかった世界遺産
第1位 (Trip Advisor)

35

【情報②歴史】

1975年～1979年の
クメールルージュにより
知識人を中心に大規模な
拷問・虐殺が行われた。

36

【情報③教育】

カンボジアの小学校で学ぶ教科は、国語、算数、理科、社会、体育、生活技能プログラム。試験に合格したら、卒業できる。

37



世界自然保護基金

- ★1961年 スイスで設立
- ★世界最大規模の自然環境保護団体
- ★人と自然が調和して生きられる未来をめざして、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や地球温暖化防止等の活動を行っている

38

ふせんに書いて分析！

小学生 清水さんの夢分析の例

生き物の命が守られる

★黄...社会への貢献
社会にこんないいことが起きる！

15 陸の豊かさを守ろう

★赤...SDGsへの関連
何番のゴールの達成につながる！

動物が大好きなんだね

★緑...感想や疑問
その人へのメッセージでもOK！

39

ティムちゃんとモイちゃんの夢は、どのゴールにつながっているだろう？



40

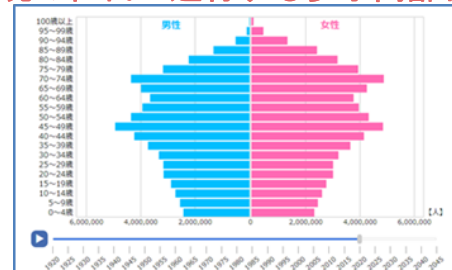
クメールルージュ（1975～1979）

- ・ ポル・ポト政権
- ・ 急激な社会主義国家の建設を推進する目的
- ・ ポル・ポト政権の政治に反対する（反対しそうな）知識人（医師、弁護士、教師など）の拷問、虐殺
- ・ 3年8か月20日間で約200万人の犠牲者

教育や経済発展の遅れ

41

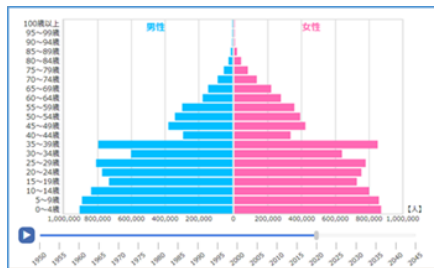
団塊の世代 進行する少子高齢化



出典：統計ダッシュボード 日本人口ピラミッド（2020）

42

人口のかたより 働き盛り世代の不足



出典：統計ダッシュボード カンボジア人口ピラミッド (2020)

43

今も残る地雷や不発弾



44

教師不足 校舎不足



【ある小学校の1日】
 6:50~ 7:00 朝会
 国旗掲揚
 7:00~11:00 1組授業
 13:00~17:00 2組授業
 17:00~17:10 帰りの会
 国旗降納

授業は2部制

45

就学率 修了率の低下

・初等教育未登録率（小学校に入学しない児童の割合）

男子9% 女子10%

・修了率（小学校を卒業できる児童の割合）

男子69% 女子79%

出典：ユニセフ世界教育白書（2019）

46



47

みんなが夢をもって
生きていける世界に



48

みんなの夢×SDG s



6年 組 ()

♪ 小学校に入る前の夢

♪ 1～2年生の頃の夢

♪ 3～5年生の頃の夢

♪ 今の自分の夢 (学習前 月 日)

♪ SDG s について知っていること

～なりたい自分プロジェクト～

探究課題

【ワーク①夢分析】

【ワーク②夢インタビュー】

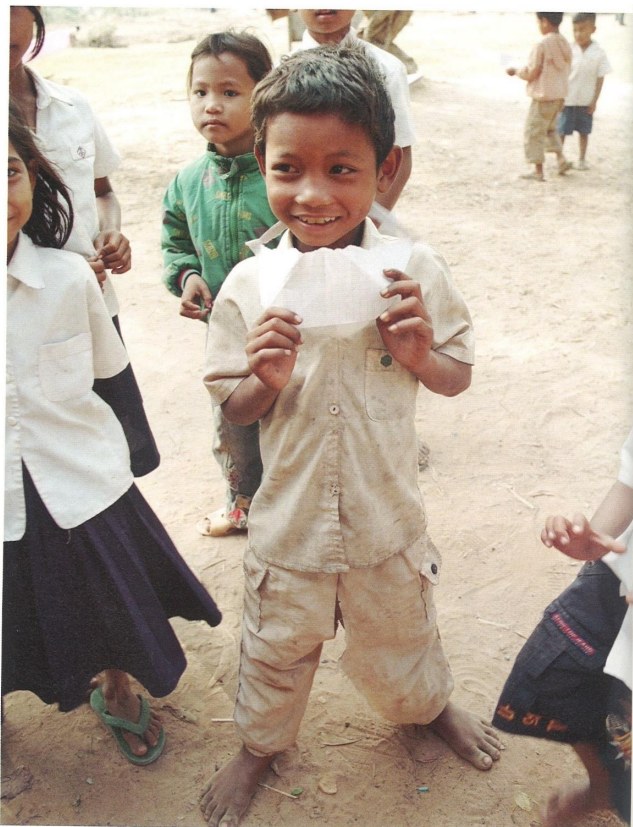
【ワーク③SDG s の学習】

A DREAM

♪ 今の自分の夢 (学習後 月 日)

♪ 夢に対する思いや願い、これからの目標

♪ SDG s について知っていること
これから貢献したいこと



Cambodia
カンボジア/シエムリアップ

ティムくん

Tim

age 7歳

将来の夢は？

ホテルのマネージャー！

Manager of Hotel

世界遺産アンコールワットのある田舎町シエムリアップ。ビンさんのバイクのうしろに乗り、郊外を案内してもらった。暑い日差しの中を、赤茶色の道を牛をつれた人がのんびり歩いていた。そこで雑貨屋に集まることもたちを発見。好奇心いっぱいの目を輝かせ、大人用の自転車を器用に立ち漕ぎしてきた小さな少年ティム。夢をたずねたら、照れながら「ホテルマネージャー」と答えてくれた。この街で新しくでき上がっていく大きなホテルは、少年たちの目には輝いて見えるのだろう。午後、ティムと一緒に学校へ。学校の校舎や給食が、WWF や先進国の援助でまかなわれていることを知った。



使用の自転車

ピンク色の校舎の前で
元気いっぱい

小さな村の雑貨屋さん

Asia | Cambodia

31



Cambodia
カンボジア/クラチェ

モイちゃん

Moi

10歳

将来の夢は？

小学校の先生！

Teacher

町の中心をメコン川が流れるクラチェ。市内から船に乗り、たどり着くのはトロン島。ここでは、「クロイトロン」という大きなみかんが有名だ。モイちゃんはトロン島小学校の4年生。担任のマリン先生は、なんとモイちゃんのお姉さん。今年、新しく先生になったばかりだ。カンボジアの小学校には音楽の授業がないけど、モイちゃんは、鍵盤ハーモニカが大好き。この学校で鍵盤ハーモニカの授業ができるのはマリン先生だけ。マリン先生は、先生になるための学校で、JICA 海外協力隊から鍵盤ハーモニカを習ったのだ。モイちゃんの夢は、お姉さんのような小学校の先生になること。「小学校は楽しいよ。勉強がんばるね！」と笑顔で語るモイちゃん。夢に向かってがんばってね。



モイちゃんの通学路

鍵盤ハーモニカを教えるマリン先生



トロン島名物
「クロイトロン」

夢分析シート

カンボジア 7歳 ティムくんの夢

SDG s との関連

() 班

社会への貢献

思い・願い

ホテルのマネージャー



夢分析シート

カンボジア 10歳 モイさんの夢

SDG s との関連

() 班

社会への貢献

思い・願い
お姉さんのような
小学校の先生

